

2024年8月2日

環境論壇「人口減少下での環境政策」への投稿の呼びかけ

松本茂・久保雄広・阪本浩章・武田史郎

『環境経済・政策研究』第18巻第1号の環境論壇のテーマは「人口減少下での環境政策」です。

合計特殊出生率が人口置換水準を大きく下回っている先進国では、今後人口は急速に減少していくと予想されています。2020年に1億2600万人あった我が国の人口も、2070年には8700万人にまで減少すると予想されています(国立社会保障・人口問題研究所2023年発表中位推計値)。また、その間に人口動態も大きく変化し、65歳以上の高齢者の割合が38%を超えるようになることが予想されています。少子高齢化社会では様々な分野の政策見直しが必要になりますが、環境政策についても見直しは必要になるはずです。

「人口減少により需要も減り、環境負荷も減るはずだから、そのまま単に成り行きに任せておけば良いのでは？」とついつい考えてしまいそうですが、それ程単純な話では済まなさそうです。例えば、生産年齢人口が減少する中でこれまでの生活水準を維持しようとするならば、生産効率性を上昇させることが必要になります。しかし、その過程で機械化を進めると、環境負荷が増してしまいます。また、生産年齢人口が更に減少すると、国内で生産をする代わりに海外から物品を輸入するようになります。しかし、そうした物品の輸入も環境負荷を増やします。一方、人口減少の影響は全ての地域で同じ様な形で顕在化するわけではないため、地域毎に異なった政策見直しが必要になりそうです。例えば、過疎化の深刻な農村地域では、これまでのような形で自然との調和を維持していくことが難しくなる恐れがあります。

かかる問題意識のもとで、本号では、「人口減少下の環境政策」を論じた原稿を募集します。経済理論に基づく考察、統計解析やシミュレーション分析による政策の定量的評価に加えて、具体的な政策課題を取り上げた定性的な分析等、様々なタイプの論考を歓迎します。

【原稿執筆・投稿に際しての注意点】

- 『環境経済・政策研究』投稿規定・執筆要領(2022年7月改定版) http://www.seeps.org/pdf/journal/jj_instruct2022.pdf のとおりに原稿を執筆し、投稿してください。
- 環境論壇ではご自身の研究結果を含まなくとも構いませんが、他者の研究結果・データ・主張等を用いる場合は、必ず出所を明確にしてください。また総説の紹介ではなく、ご自身の視点で主張を展開してください。様々な分野の専門家および一般市民を対象としたものであることを念頭に置いて、高度に専門的な論考はお避けください。

- 投稿は和文誌『環境経済・政策研究』の投稿システム (<https://iap-jp.org/seeps/journal/>) から行ってください。(※初回はログイン画面下の新規カウントの発行が必要です。)もし投稿システムからの投稿ができない場合は、和文誌編集事務局(reeps-edit@bunken.co.jp)までご連絡ください。

【投稿締切】

2024年11月29日(金)

【投稿後の留意点】

- 投稿された論考は、編集委員会で迅速に査読を行い、掲載の可否を決定します。その際、修正を求めることがあります。査読結果を踏まえた修正原稿の送付の際には、修正箇所がわかる原稿とあわせ、修正内容や照会事項に対する回答をまとめた一覧表も提出してください。(書式は自由です。)
- 掲載否となった場合、不受理の理由のみをお伝えし、査読報告書は特にありませんので、ご了承ください。